



岩野田・岩野田北

コミバス通信

第14号

【編集・発行】岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会

【発行日】令和6年9月1日

▶岩崎山手地区の岩崎1号墳。眉山の南麓に眠っています(下の写真の竹藪の中)。



千六百年の眠り
地域の古墳群



岩崎1号墳は、古墳時代後期に造られた高さ4m、直径20mの円墳。「横穴式石室(古墳の横に開口部を設け、内部への通路を造り付けた石積み)」です。7基あった岩崎古墳群は、多くが大正末期までに消滅し、最大規模とみられる1号墳のみが現存します。【3面参照】

地域の皆さんのおかげで運行開始5周年!!

令和元年(2019年)9月に試行運行が始まり、令和4年に本格運行に移行しました。そして、今年6月に利用者数の累計が6万人を越え、この9月、運行5周年を迎えました。

●自治会を中心に運営協議会を結成

岩野田及び岩野田北自治会連合会長のもと、自治会を主体に、平成30年7月に準備会を結成し、平成31年4月に運営協議会へと移行しました。運営協議会は住民代表・岐阜市・運行事業者で結成しています。

●地域の皆さんのおかげで 令和元年の愛称募集では、小中学校、城北高校、一般合わせて625人の応募の中から“ぐるっとバス”に決定。翌年、車両広告への協賛を募り、現在15業者のご協力を賜っています。このご協力がなければ、運行はできませんでした。また、コロナ禍を乗り越え、コミバスの利用者数も年々増加しています。ありがとうございます。

●今後の目標

来年4月から祝休日の運行をする予定です。さらに日曜日運行を目指すために、地域の皆さんのご理解・ご協力のもとで、年間利用者数の20%増の18,000人(1,500人/月)が目標です。

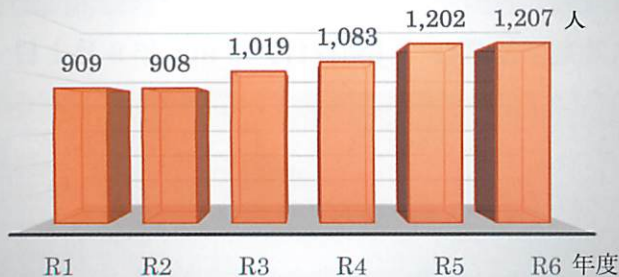
季節は巡り、
地域を巡って5周年!!



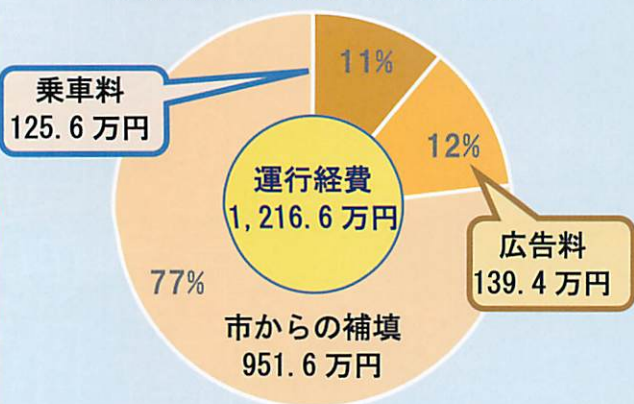
来年度から、祝休日運行の開始を予定しています

月平均利用者数

R1 9～3月平均
R6 4～6月平均



令和5年度 運行経費に対する収入内訳



【利用状況】

令和5年度の月平均は1,202人で令和4年度より119人増え、また、年間利用者数は14,421人で令和4年度より1,422人増えました。また、コミバスが運行できない岩崎山手では、令和5年度のサポート利用者は年間で22人でしたが、令和6年度に入ると、6月の1か月間で10人の利用がありました。

【収支状況】

令和5年度の運行経費は1,216.6万円。収入は、乗車料が125.6万円、広告料は、勝栄工業(株)さんが令和5年度6月から加わり、初期経費を差し引いて139.4万円でした。令和6年度は、15業者に継続して契約いただき、145.2万円を見込んでいます。

【祝休日の来年度運行開始を目指して】

今年度は、3年ごとに行われる本格運行の継続判断の年となります。広告料が市の算定基準の緩和措置により、1.5倍と見なされるようになったこともあり、運行の継続が可能と見込まれます。また、祝休日の運行(運行日が294日から309日に増)も、運行単価の値上がりを考慮しても、可能と試算されたため、来年4月から運行を開始する予定です。

バス停が近くない便利してます

浅野さん(女性・八幡洞)

❖昨年、八幡洞団地バス停利用者3名が、バス停を団地内に移動するようお願いをし、実現しました。50mほどの移動ですが助かります。

❖通院のほかボランティアもしている岐北病院へは、“ぐるっとバス”を利用しています。❖長良や黒野の病院へも通院していますが、長良の病院へは岐北病院の受診に合わせ、岐北病院から岐阜バスに乗車します。❖買い物やサークル活動もしていますので、祝休日ばかりでなく日曜日でも運行して欲しいです。



▲▶八幡洞団地奥の八幡神社には、1684年造のお地藏様が、訪れる人を見守ります。



私の乗車体験記

RTさん(男性・下岩崎)

❖“岩崎高齢者福祉会”が企画する春と秋の「ながら川の森散策」と「神仏温泉入湯」で、体力づくりに参加しています。その折、行き帰りにコミバスを利用しています。自宅近くの停留所が利用でき、重宝しています。❖我々高齢者は、年を重ねるたびに体力の衰退が進み、外出時の足の確保も難しくなりがちです。こんな時こそ、地域に密着したコミバスの利用が効果を発揮するのです。❖バスの車窓風景は、子どもの頃とは一変、山裾までも開発が進み住宅が立ち並び、昔の面影が消えたことに一抹の寂しさを覚えます。…目を移せば周囲の山、川は自然のままに悠長です。こうした町の移り変わりが見られるのもバスならではの楽しみではないでしょうか。❖まだ乗車の機会がない方は、一度利用されることをお勧めします。岩野田地域には、史跡や寺院等歴史が体感できる場所が数多く存在しており、これらをコミバスで巡るのも一興かとおもいます。もう一つの魅力は運賃です。はがき一枚が63円時代、この運賃で楽しみが増せばこれまた結構。大いに活用しましょう。いつまでもコミバスの運行が続くことを願って。

運行にご協力をいただきありがとうございます

地区収入の半分以上を占める車両広告にご協賛いただいている皆さん、ルートを確認するために敷地内運行にご協力をいただいている皆さん、本当にありがとうございます。

● 広告ご協賛いただいている皆さん (順不同・敬称略)

原尾エステート、神谷新聞店、今井整形外科、岩砂病院・岩砂マタニティ、三田洞歯科医院、岐北厚生病院、増田医院、かとう整形外科クリニック、ふじさわクリニック、平成調剤薬局、カワサキ保険センター、(株)米金商店、中島建築、萩建設(株)、勝栄工業(株)

● 敷地内の運行にご協力いただいている皆さん (順不同・敬称略)

バロー栗野店、JA ぎふ岩野田支店、ほっともっと岐阜岩崎店

シリーズ「地域の歴史文化を訪ねて」②

古墳を巡る

頼山陽が命名した眉山の山頂にも…



岩野田・岩野田北地域には、今から 1,600 年ほど前に造られたとされる古墳が、発見されています。

眉山の山頂の鎧塚古墳は、最大(全長 82m の前方後円墳)で、大和朝廷に仕えた牟義都(むげつ)の墓と考えられています。今ほど樹木が茂っていない頃には、地域の人々は、毎朝眺めては拝礼したのではないのでしょうか。

近隣の北部の多くの古墳群は、同族の墓との説もありますが、消失した古墳も少なくありません。なお、今回紹介した古墳以外にも、古墳跡が確認されています。

今回紹介する古墳



【付近のバス停】①「栗野西 5 丁目」下車(山頂まで 30 分) ②「岩崎桜本」下車(徒歩 5 分) ③「栗野口」下車(徒歩 15 分)
※訪れるにはガイド役が必要。



▲栗野古墳群の石室の開口部



▲山神様の碑のある石室



▲道から眺められる石室

写真の栗野古墳群は、いずれも横穴式石室で、栗野郵便局から自動車学校に向かう山沿いの道に沿って、3 基あります。このうち、一番西側にある石室は、道から見るができます。他の 2 基は、栗野共有林の山中にあります。古墳に向き合うと、とても神聖な気持ちになります(写真は昨年 10 月撮影)。※もとより、石室の中に入りはいけません。

【参考文献】「岩野田郷土誌」(「岩野田の歴史を語る会」編・令和 2 年)、「岐阜市史資料編」(昭和 54 年)

共通一日乗車券(200 円で他の地区のコミバスも乗り放題)を、車内で販売しています。



みんなでウォーキング!!

ウォーキングは、誰でも手軽に始められる、最も基本的な運動です。岩野田まちづくり協議会では、地域の史跡・旧跡を訪ね、地元の方のお話を聞きながら、健康ウォーキングを楽しんでいます。みんなでおしゃべりをしながらのウォーキングは、心と体をリフレッシュさせてくれます。皆さんも、この機会に健康ウォーキングに参加し、史跡・旧跡を巡ってみてはいかがでしょうか。



▲岩崎1号墳も訪ねて(昨年6月)



▲百々ヶ峰登山(昨年11月)



▲三田洞弘法(今年5月)

次回、岩野田健康ウォーキング 「仲秋の霊松院を訪ねる」

● 9月14日(土) 9時出発

今回は、岩野田小学校体育館から岩崎の霊松院さんまでを歩きます。境内見学のほか、宝暦治水工事義死者(内藤十左衛門)のお墓を、特別にお参りさせていただきます。

多数のご参加をお待ちしています。

※霊松院にて解散(11時頃の予定)。

最寄りの“ぐるっとバス”停留所は、
「霊松院前」(右回り12時7分発)。



【開催日】2024年9月14日(土)

【集合】岩野田小学校体育館 南側受付

【時間】午前8時30分受付開始 9時~11時

【参加費】無料(受付で、お菓子とお飲み物、史跡・旧跡散策マップをお受け取りください。)

【服装】帽子、タオル、歩きやすい服装・靴、
天候に応じ雨具

【問合せ先】岩野田まちづくり協議会事務局

(担当: 田中) 携帯: 090-2948-7680

E-mail: iwanoda.machikyo@gmail.com

※ホームページ(下記のコラム)をご参照ください。

コ ラ ム

地域のホームページでは、史跡など郷土の文化も紹介しています。ご覧ください。

岩野田

まちづくり協議会

♥ まちの歴史や活動を紹介、川柳のお部屋も。



岩野田まち協

岩野田北

まちづくり協議会

♥ まちの自然や活動を紹介。季節の日記も。



編 集 後 記

地域が主役 みんなが主役



♥ 広告協賛をいただいている皆さんから、本年も継続の更新を受けました。この協力なしに“ぐるっとバス”の継続運行はできません。本当にありがとうございます。♥ 1面で触れました5年前のコミバス愛称募集には、岩野田小学校111人、岩野田北小学校166人、岩野田中学校285人、城北高校8人、そして一般55人の応募がありました。♥ “ぐるっとバス”に親しみをもっていたい若い皆さんにも、祝休日運行が故郷の探索などに、役立つことを願っています。